

文部科学省 高度専門職業人養成機能強化促進委託事業

高次システム化対応教育プログラム ～建築・土木産業に関わるビジネスの技術経営(MOT)講座～

受講生募集のご案内 環境・社会理工学院 実施

11月7日(火)19時より
田町キャンパス 713教室
にて説明会開催予定

ご挨拶

社会の持続的な発展を実現するために、そして企業や産業が展開するために、より高次のシステムを創造すること、すなわち、複数の既存産業の技術やビジネスを集積して、それらの上位に新しいシステム(高次システム)を実現し新たなビジネスを創造することが求められています。

そのためには、既存の分野で高い専門性を有する人材が、他分野の知識・知見を習得し、新たなイノベーションの担い手になることが求められます。本プログラムは平成29年度、文部科学省「高度専門職業人養成機能強化促進委託事業」の一環として実施するもので、専門性を持つ職業人自らが専門とする分野の産業上の位置づけを理解し、隣接する他分野(非専門分野)の知識に触れることで、将来身につけるべき知識が何であるかを知るための教育プログラムです。今年度は、建築・土木産業の次代を担う方々を対象に、建築・土木産業に関わるビジネスを俯瞰するためのプログラムを開講いたします。

環境・社会理工学院 副院長 プログラム総括 藤村 修三



募集要項

プログラム受講期間

平成30年1月～平成30年5月

毎週1回 全24回 木曜 19時～21時(予定)

※科目の一部は、火曜、水曜、または土曜開催になります。
※講義の他、課題等の提出を前提とした自己学習を想定しています。
※科目によっては、内容が一部変更になる場合があります。

受講対象者

専門分野に関わる一通りの技術を身につけた若手技術者であって、キャリア形成を図り、高次システム化に対応できる次代を担う社会人の方。

※専門分野として建築、土木・環境工学系を想定しています。

受講場所

東京工業大学 田町キャンパス

東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター
(JR田町駅 芝浦口 徒歩2分)

※実験を伴う一部の科目は、大岡山キャンパスになります。

募集人員

15名(最大20名)

受講料

237,600円(税込)

※金額は予定額を示します。

※お支払方法はお振込みにてお願いする予定です。お振込み後の受講料の返還はいたしませんのでご了承ください。

申込み期間

平成29年11月1日(水)～12月4日(月)

(締切日必着)

申込み方法

願書に必要事項をご記入のうえ下記宛お送りください。
申込み用紙は下記サイトからダウンロードできます。

〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6 東京工業大学 CIC 907N
高次システム化対応教育プログラム事務局(藤村研究室)
URL: <http://www.fujimura-lab.mot.titech.ac.jp/index.html>

受講審査・受講通知

志望理由書等に基づく書類審査をいたします(申込順)
受講通知については、メールまたはお電話にてご連絡いたします。(後日、受講認定証を通知)

修了認定

修了者には「修了証書」を交付する予定です。評価については出席状況を含め、コースごとに行います。

お問い合わせ

東京工業大学 環境・社会理工学院 イノベーション科学系
高次システム化対応教育プログラム事務局(藤村研究室)
E-Mail: sle-info@mot.titech.ac.jp

プログラムの特長・学習形態

- ・高次システム化対応リテラシーとして、技術経営およびビジネス分析の基本(イノベーション論、コミュニケーションデザイン、クラウドソーシング、サービスイノベーション、技術者倫理など)を学びます。
- ・専門分野では修士レベルの基礎(実験を含む)から最新の建築、土木・環境系技術まで俯瞰的に学びます。またビジネスの実例を事例で学びます。
- ・講義だけでなく、グループ討議やグループ課題発表など自ら学ぶ意欲を前提とした学習形態になります。

スケジュールと担当講師

所属の*は東京工業大学 環境・社会理工学院を示す。

回	月/日	曜日	場所	科目区分	テーマ・科目名		担当講師	所属
1	1/ 9	火	田町	MOT (高次化 リテラシー)	ガイダンス、イノベーション論		藤村 修三	* イノベーション科学系教授
2	1/16	火	田町		コミュニケーション・デザイン 1		西條 美紀	* イノベーション科学系教授
3	1/23	火	田町		コミュニケーション・デザイン 2			
4	1/25	木	田町	ビジネスの実際	事例紹介と宿題課題提示		作中 秀行	日本工営株式会社 技術本部長
5	2/ 1	木	田町	建築学	社会的ストックの大切さを 知る	改修のすすめ	安田 幸一	* 建築学系教授
6	2/ 8	木	田町			災害時における歴史的建造物の保護、修復と建築士の役割	山崎 鯛介	* 建築学系准教授
7	2/15	木	田町		エンジニアリングで「もの」と「こと」を考える	材料名のない建築材料学	横山 裕	* 建築学系教授
8	2/21	水	田町			最近の建築構造設計と耐震・制振・免震技術	竹内 徹	* 建築学系教授
9	2/28	水	田町		快適性を科学する	建築と都市の「見え方」を設計する技術	中村 芳樹	* 建築学系教授
10	3/ 8	木	田町			都市の快適環境とシミュレーション	浅輪 貴史	* 建築学系准教授
11	3/15	木	田町		都市・大学の未来を覗く	人口減少時代の都市計画/都市の更新と再生	中井 検裕	* 建築学系教授
12	3/22	木	田町			都市の縮図としての大学キャンパス空間：計画とマネジメント	斎尾 直子	* 建築学系准教授
13	4/ 5	木	田町		持続可能社会を考える	水環境管理の基礎と新たな展開	吉村 千洋	* 土木・環境工学系准教授
14	4/12	木	田町			持続可能な工法としての空石積み	真田 純子	* 土木・環境工学系准教授
15	4/14	土	大岡山	土木・環境工学	社会の安全を考える	構造材料の基礎と最新技術（実験を含む）	佐々木 栄一 田村 洋	* 土木・環境工学系准教授、助教
16	4/19	木	田町			災害から社会を守る技術・地震災害を例に基礎から応用まで	盛川 仁	* 土木・環境工学系教授
17	4/26	木	田町			数値シミュレーションの基礎と最前線～有限要素法を中心に～	廣瀬 壮一	* 土木・環境工学系教授
18	5/10	木	田町		次世代インフラ・空間を考える	社会インフラの維持管理・マネジメント～個別最適から全体最適へ～	岩波 光保	* 土木・環境工学系教授
19	5/15	火	田町			交通需要予測と交通調査の基礎理論	福田 大輔	* 土木・環境工学系准教授
20	5/17	木	田町			交通ネットワークの分析と計画～システム論的アプローチ～	朝倉 康夫	* 土木・環境工学系教授
21	5/24	木	田町	MOT	技術者倫理	平野 琢	東京交通短期大学 専任講師	
22	5/26	土	田町		クラウドソーシング	比嘉 邦彦	* イノベーション科学系教授	
23	5/26	土	田町		サービスイノベーション	日高 一義	* イノベーション科学系教授	
24	5/31	木	田町	ビジネスの実際 修了式	宿題課題発表と討論			日本工営株式会社

プログラム説明会（実施予定）

11月7日(火)19時より田町キャンパス713教室(7階)にて説明会を予定しております。参加申し込みはメールで受け付けします。件名「高次システム化対応教育プログラム説明会参加」とし、「氏名」「所属先」を記載のうえ、事務局までお送りください。



東京工業大学
Tokyo Institute of Technology

環境・社会理工学院

<http://www.titech.ac.jp/about/organization/schools/organization06.html>

< 平成29年10月作成 >